

中国ドキュメンタリー映画祭 in Japan

開催のお知らせ

— リアルすぎる中国が、ここにある —

日中友好会館美術館で開催中の2025年特別企画展「茶馬古道ろまん — 中國雲南省無形文化遺産の世界」の関連イベントとして、11月14日(金)～11月16日(日)の3日間、「中国ドキュメンタリー映画祭 in Japan」を開催いたします。バラエティに富んだ中国のドキュメンタリー映画を、どうぞお楽しみください。

主 催：中華人民共和国駐日本国大使館、公益財団法人日中友好会館
株式会社ワノユメ

会 場：日中友好会館地下1階大ホール
東京都文京区後楽1-5-3 後楽国際ビルディング
席 数：各回100名 *入場無料
事前お申込不要ですが、定員に達した場合、入場制限を設ける場合があります。予めご了承ください。



写真:イメージ

上映スケジュール：

	午前 10:00～	午後①	午後②
11月14日(金)			《THIS IS LIFE》15:00～
11月15日(土)	《OBAKU》10:00～	《大涼山》13:00～	《朱鷺》15:30～
11月16日(日)	《大涼山》10:00～	《THIS IS LIFE》13:30～	《人民万歳》15:30～

※全作品日本語字幕付

- ◆全席自由席となります。
- ◆当会場は映画館ではありません。座席によってはスクリーンが見えにくい場合がございます。予めご了承ください。
- ◆入場チケットの発券はございません。
- ◆各回開始30分前から入場を開始します。定員に達した場合、入場制限を設ける場合があります。

◎駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際は、交通機関をご利用ください。

電車でお越しの方：

都営大江戸線「飯田橋」駅C3出口より徒歩約1分

JR総武線、地下鉄東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」駅A1出口より徒歩7分

地下鉄丸ノ内線「後楽園」駅より徒歩10分



さあ、スクリーンの向こうに広がる世界へ。作品紹介は裏面をご参照ください。

中国ドキュメンタリー映画祭 in Japan

上映作品のご紹介：

朱鷺 (79分)

「朱鷺」は日本初公開。

本作は「愛こそ希望」をテーマに、野生のトキの最後の生息地—中国秦嶺での生存・生活を2年以上の時間をかけて記録しています。トキの家族・子育て・愛と人類との共生の物語です。



人民万歳 (86分)

「人民万歳」は2023年公開。

本作は、毛沢東が革命時代の戦火から勝利を収めた時期の輝かしい日々、さらに建国以降の偉大な変革に至るまで、あらゆる歴史的瞬間を記録した貴重な歴史映像資料を基にした作品です。



THIS IS LIFE (82分)

「THIS IS LIFE」は2024年公開。

本作は中国で上映開始した世界初のUGC※映画で、孫虹監督が動画サイトに公開されている数百万の素材から一般ユーザー509名 887動画を厳選し、労働者の衣、食、住、行(交通)、家族、5つのセッションに編集した作品です。

※UGCとは、一般のユーザーが作成したコンテンツのこと。



OBAKU (100分)

「OBAKU」は2025年公開。

本作は黄檗文化を紹介する世界初の歴史ドキュメンタリーです。隱元禪師の渡日と弘法大師の壮大な歩みを軸に、日中文化交流の歴史における海を越えた文明の対話を映像で再現しています。



大涼山 (70分)

「大涼山」は2023年公開。

本作は、中国在住の日本人監督・竹内亮が、中国で最も貧しい地域のひとつである四川省の山奥で、未だに昔ながらの生活スタイルを残す大涼山で暮らす人々に密着し、記録した作品です。



■本催事に関するお問合せ（日中友好会館文化事業部）

電話：03-3815-5085（平日9時～12時、13時～17時） Mail : bunka@jcfc.or.jp

* * * * *

第二会場：角川シネマ有楽町

* 有料 *

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-11-1 読売会館8階

電話番号:03(6268)0015

開催期間:2025年11月7日(金)～11月20日(日)

詳細は右側のQRコードよりご確認ください。

